

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2389号 2017年12月25日（月曜日）

《 年末ご挨拶 》

週明け25日がクリスマスデーとあって、また今週の週末は年末接近とあって世界各地でお休みの多い週です。マーケットは徐々に2018年に向けての動きを見せ始めると予想される。

現時点で動きが激しいのはシカゴの2商品取引所に上場されたビットコインです。商品取引所に上場されているものの「仮想通貨」(crypto currency)の呼び名の通り、「通貨」の側面もあるために各国中央銀行の関心も高い。この週末にはCNBCに「From China to Singapore, Asian countries are increasingly uneasy with the rise of bitcoin」(<https://www.cnbc.com/2017/12/22/bitcoin-china-singapore-japan-issue-cryptocurrency-warnings.html>)という記事があて面白かった。私は見られなかったのだが、この記事によれば先週木曜日の黒田総裁の記者会見でも「異常(abnormal)」との発言が出ていたようだ。実際に総裁の発言までの今年のビットコインの上げは常軌を逸していた。

この記事が面白いのは11月末時点で日本、韓国、それにベトナムが世界におけるビットコイン取引の80%を占めているという指摘。もともとはウォール・ストリート・ジャーナルが報道したものらしいが、日本では最近タクシーに乗るとビットコイン(取扱業者)の商業をやっていたりする。しかし値上がりして存在感を高めれば高めるほど「急激な値下がり」をした場合のリパーカッションが大きくなる危険性が高まる。ということは当局の監視の目が強くなる、ということだ。

黒田発言後の急落は、休暇シーズン入りの季節とあってある意味予想された展開。ドル建て価格の変動を見ると、2万ドルに接近した後いったん40%近く値下がりし、その後戻ったが日曜日にはまた下げて、私がこの文章を書いている時点では購入価格164万、売却価格157万ほどになっている。今週はこのビットコインの大幅な下げを受けて始まるが、リパーカッションはいかほどだろうか。レバレッジの程度が分からないので、他の市場に影響を及ぼすはちょっと予想がつかない。

2018年には、ビットコインなど仮想通貨は試練の年を迎えるだろう。この数日間の値動きの荒さで、「とりわけリスクのある投資」の側面を改めて見せた。恐らく各国の通貨当局は、その存在感が高まれば高まるほど、ビットコインを「金融の安定性にとっての脅威」と受け取るだろう。その試練をくぐれるかどうかは今の「当局が関与しない仮想通貨市場」の真価が問われる時となる。

もっと大きなマーケットのトレンドと言えは株高だろう。先週のニューヨーク市場に関する市況記事には「トランプ減税で5週連続の上げ」との文字が躍っていた。米メディアによると、先週金曜日までで見ると2017年にS&P500は19.9%、ダウ工業株30種は25.4%、Nasdaqは29.4%の値上がりになったという。CNBCの記事には「来年、各指標はあと10%前後上がる」とのアナリストの見方が紹介されていた。確かに今年これまではハイテク株が跳梁跋扈した。この週末に読んだ日経掲載のFTの記事には、「IT大手 一人勝ち許すな」的な記事があった。ITバブルの頃と違って、実際に我々の身の回りがスマホの高性能化、AIスピーカーの登場、自動運転車への展望など実体的に大きな変化が見られる中でのIT株の上げだった。

対して為替（伝統的通貨間の値動き）は概ね静かな展開だったと言える。仮想通貨全般に対する伝統的通貨の価値は大きく変化したが、それは来年も続くだろう。政治的動きで注目されるのは、やはり北朝鮮情勢だ。日曜日の日経には「中国、半島有事想定か」という見出しで、中国が「難民キャンプ準備」と「軍駐留施設の増設」をしていると報じている。半島有事の「米軍の38度線越え、その後の速やかな撤退の中国への確約」、中国による「北朝鮮の核施設の管理」などは既に米中間で合意されているという。日本の近くであるかも知れないあまり嬉しくない動きだが、今の北朝鮮の態度では「必ず避けられる」と言う事も出来ない。年末・年始の間も注意しておく必要がある。

- - - - -

今週の主な予定は以下の通り。

- | | |
|-------------|---|
| 12月25日（月曜日） | 休場=米、英(クリスマスデー) |
| 12月26日（火曜日） | 11月労働力調査・有効求人倍率
11月家計調査
11月消費者物価指数
11月企業向けサービス価格指数
米10月S&Pコアロジック住宅価格指数
10月30・31日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨
休場=英、豪、独、仏(ボクシングデー) |
| 12月27日（水曜日） | 米12月CB消費者信頼感指数
米11月中古住宅販売仮契約 |
| 12月28日（木曜日） | 11月商業動態統計
11月鉱工業生産
12月20・21日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」 |
| 12月29日（金曜日） | 大納会
米12月シカゴ購買部協会景気指数
休場=韓国 |

《 have a nice holiday season 》

週末はいかがでしたか。「今年も実質これで終わり」というせわしない印象が強い週末でした。イルミネーションが綺麗に飾られた都内の大きな商業施設は土日とも大変な人出でした。私が行ったミッドタウンなどは歩行路規制がかかっている、いつもと違う動線しか許されなかった。その中を大勢の方々が規制に従ってゆっくり移動していて、「ある意味、日本は本当に秩序だっているな」と思いました。

年末・年始は読者の方々はそれぞれ計画をお持ちか、それとも「この時とばかりはゆっくり休もう」とお思いか。いずれにせよ年末という気もあまりしません、今年も最後の一週間となりました。年明けは多分1月8日が最初の号となります。少し間が空いてしましますが、その間、皆様には良い時間が過ごせますように。

改めてですが、またまた一年間お世話になりました。お読みになっている方々の参考になったかどうか。皆様には良い年末・年始をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》